

5. 主な報道発表 (2021年12月3日以降)



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

主な報道発表はありません

6. 敦賀総合研修センター公開研修のご案内



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで、29 コースの公開研修を計画しています。以下はお申込み期限が近づいている主なコースの内容です。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QRコード※または下記 URL から当社ホームページをご覧ください。なお、研修にお越しの際は、マスクを着用されるとともに、敦賀総合研修センターの新型コロナウイルス感染防止対策に従っていただきますようお願いいたします。

<http://www.japc.co.jp/tsuruqa/tsuruqa-training/index.html>

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
原子炉施設廃止措置コース	廃止措置の概要や法制度とともに、廃止措置の基礎となる放射能評価、廃棄物の処理・処分や解体撤去技術など、廃止措置の先行例を含め廃止措置全般について学びます。	2月24日、25日(午前)	1月14日
原子炉施設廃止措置工事学習コース	原子力発電所構内において、廃止措置工事に初めて従事するうえで必要となる発電所ルールの概要、技量や手法、工事要領検討について講義と実習により学びます。	3月3日	1月21日

公開研修に関するお申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター (敦賀市沓見165号9番地6)
電話: 0770-21-9700 FAX: 0770-21-9726 (応募申込専用)
メールアドレス: tsuruqa-tr-center@japc.co.jp



敦賀総合研修センター

げんでんふれあいギャラリーのご案内



◀こちらからげんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆2021 福井県小・中学生科学アカデミー賞優秀作品 敦賀展

2021年12月21日(火)～2022年1月9日(日)

今年度で28回目を迎える福井県内の小・中学生の理科研究を審査する科学アカデミー賞(主催: 福井新聞社)に寄せられた作品の中から、上位入賞した研究作品20点を展示中です。



◆第24回(令和3年度)小学生人権ポスターコンテストおよび第40回(令和3年度)中学生人権作文コンテスト入賞作品展

1月11日(火)～16日(日) 初日は11:30から、最終日は15:00まで

福井県内の小学5・6年生の児童が描いた人権ポスターや、中学生が書いた人権作文の入賞作品展です。いじめ問題や男女差別問題など、人権をテーマとした作品40点を展示予定です。(主催: 福井地方法務局、福井県人権擁護委員連合会)



◆敦賀市内高等学校生徒3校合同作品展(敦賀気比高等学校/敦賀工業高等学校/敦賀高等学校)

1月25日(火)～30日(日)

敦賀市内の高等学校3校合同の絵画、書道、研究製作などの作品展です。学校のクラブ活動などで生徒の皆さんが制作した作品33点を展示予定です。



左から▶ 敦賀気比高等学校/敦賀工業高等学校/敦賀高等学校 (2点)

2022年度のギャラリー展示利用申込みの受付を行います

受付期間: 1月17日(月)～23日(日) 10:00～16:00

ご利用の案内、申込用紙などは当社ホームページからダウンロードできます(1月11日～)。詳細は下記までお問合せください。

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。

<http://www.japc.co.jp/tsuruqa/fureai/event/fureai.html>



感染防止徹底宣言ステッカーを取得しています

本資料の作成元・お問合せ先: 日本原子力発電株式会社 (略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2-9-16



げんでん いんふおめーしょん1月号

2022年1月6日

No.209

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

昨年は大変お世話になり有難うございました
本年も地域の皆さまに信頼され安心していただけるよう
敦賀発電所の安全性と信頼性向上に全力で取り組んでまいります
今後とも何卒よろしくご指導のほどお願い申し上げます

敦賀事業本部長

敦賀事業本部 副事業本部長兼敦賀発電所長

敦賀事業本部 副事業本部長兼立地・地域共生部長

敦賀事業本部 敦賀建設準備事務所長

敦賀事業本部 敦賀総合研修センター所長

敦賀事業本部 美浜原子力緊急事態支援センター所長

師尾 直登

坂佐井 豊

鈴木 浩

北川 陽一

一ツ矢 範生

白石 浩一

1. 敦賀発電所の状況 (2022年1月6日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型)	<p>●2017年5月15日より廃止措置工事中(廃止措置期間:24年)</p> <p>○2015年4月 営業運転終了</p> <p>廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。</p>
2号機(加圧水型)	<p>電気出力116.0万kW、1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1922億9908.3万kWh</p> <p>●2011年8月29日～ 第18回定期検査中</p> <p>○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。</p> <p>○2015年11月5日に新規基準への適合性確認審査のための申請を行い、現在審査対応中です。対応状況は、以下をご覧ください。</p> <p>= 敦賀発電所2号機の新規基準への適合性確認審査の状況について =</p> <p>原子力規制委員会による審査は、現在、敷地内破砕帯評価と地震動評価(地震の揺れ)の二つの論点について進められています。</p> <p>2020年2月の敷地内破砕帯評価に関する審査会合において、敷地北側にある断層(K断層)と2号機原子炉建屋の直下にある破砕帯との関連性について当社から説明したところ、審査資料に当初記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データとなる顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのご指摘を受けました。</p> <p>ご指摘を受けた件については、審査とは別に品質保証に係る検査として確認していただくことで、審査を継続していただいておりますが、2021年8月18日に開催された原子力規制委員会において、調査データに基づく当社の評価結果の信頼性が確保されるために必要な業務プロセスの構築が確認されるまでの間は、審査会合を実施しないという方針が示されました。</p> <p>当社は、原子力規制委員会の決定を重く受け止めるとともに、審査の進展を期待していただいている地域の皆さまに多大なるご心配をおかけしていることを、心より深くお詫び申し上げます。</p> <p>業務プロセス構築の取り組み状況は、その後の検査においてご確認していただいております。10月26日に開催された公開会合では、社内規程の見直しに加え、新たな規程を制定することとし、それらに基づいた審査資料を提出できるよう進める旨をご説明しました。</p> <p>11月2日の原子力規制委員会において、原子力規制庁から今後の進め方として、当社が社内規程改正などの改善活動を終了し、審査資料の準備ができた段階で再度検査し、検査結果を規制委員会に報告することが示されました。当社といたしましては、確実な業務プロセスの構築作業を進め、改善された業務プロセスに基づき、品質が確保された審査資料を提出できるよう真摯に検査に取り組んでまいります。</p>

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況 (2022年1月6日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況▶
(2021年12月23日撮影)

3. トピックス

(1) 敦賀発電所 原子力総合防災訓練を実施

12月3日、敦賀発電所原子力総合防災訓練を実施しました。今回の訓練は、敦賀市内で大規模地震が発生したことによる敦賀発電所の外部電源喪失、使用済燃料プール水位の低下などを想定し、事故発生時における現場対応能力の向上を目的として行いました。

訓練では、当社、関係会社および協力会社など約160名が参加し、訓練目標である住民防護に係る必要情報の発信や関係各所への発電所情報の共有、過去の訓練で抽出された改善策の有効性の検証に取り組みながら、事故収束に向けて適切に対応できることを確認しました。

敦賀発電所では、今後も継続的に訓練を実施し、更なる安全性向上に努めてまいります。



災害対策本部の様子



指揮をとる災害対策本部長 (敦賀発電所長)
(写真右端)



負傷者救護訓練

(2) げんでんふれあい広場を開催

12月4, 5日、MEGA ドン・キホーテ UNY 敦賀店において、「げんでんふれあい広場」を開催しました。

「げんでんふれあい広場」では、クイズや敦賀発電所見学 VR 体験、また、当社 OB がスタッフとして放射線測定体験などを行い、ご来場いただいた約430名の方々に楽しんでいただきました。

当社はこれからも様々な機会を通じて、情報発信や対話を重ね、地域の皆さまとのコミュニケーション活動に取り組んでまいります。



多くの方にご来場いただきました。ありがとうございました!

(3) 南越前町議会の皆さまが美浜原子力緊急事態支援センターをご視察

12月7日、南越前町議会原子力安全対策特別委員会の皆さまが、美浜原子力緊急事態支援センター (以下、支援センター) をご視察されました。

支援センターでは、小型ロボットや無線重機の操作訓練の様子、ドローンなどをご視察していただきました。ご参加の皆さまから「事故が起きても被害を最小限にとどめることが支援センターの役割だが、我々地域住民が避難することがないようにしてほしい」といったご意見をいただきました。



ロボット操作訓練見学の様子



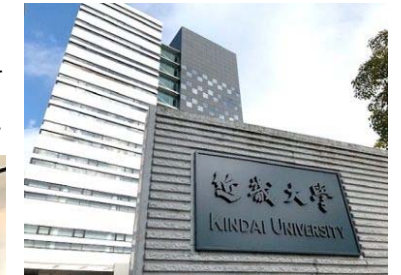
無線重機操作訓練見学の様子

(4) 近畿大学東大阪キャンパスにクリアランスベンチを展示

当社では、福井県が策定した「嶺南Eコースト計画」に基づき、関係機関の皆さまのご理解・ご協力をいただきながらクリアランス再利用品の展示拡大を進めるとともに、理解促進活動に取り組んでいます。

12月10日、福井県外の民間施設では初めて近畿大学東大阪キャンパス内にクリアランスベンチ2脚を展示 (原子力研究所内講義室および工学部38号館1階フロアに各1脚) させていただきました。

原子力研究所の若林教授から「クリアランスについてより多くの人に知っていただきたい。教材としても活用していきたい」とのお言葉をいただきました。



近畿大学理工学部38号館に展示したクリアランスベンチと、立ち会っていただいた原子力研究所山西所長、若林教授、山田准教授、学生の皆さん



【クリアランス制度】原子力発電所の解体などで発生する金属やコンクリートなどについて、放射能レベルが人体への影響を無視できるほど極めて低いものを、一般のリサイクル物として再利用または産業廃棄物として処分することができる制度。

4. 次世代層への教育支援活動

・「2021 福井県小・中学生科学アカデミー賞」への支援

12月4日、福井県内の理科教育の発展を目的に創設され、今年度で28回目となる「福井県小・中学生科学アカデミー賞」(福井新聞社主催、当社協賛)の表彰式が、福井新聞社「風の森ホール」で行われました。

今回は、県内の小学4年から中学3年の個人、グループから19,704名の応募があり、その中から最優秀賞2名(小・中学生各1名)、優秀賞14名、優良賞16名、入選50名、奨励賞20名、団体の部として県教育委員会賞4団体、原電社長賞4校が表彰され、最優秀賞受賞者による研究作品の発表が行われました。

「原電社長賞」は、長年にわたり熱心に理科教育に取組み、優秀な研究作品を多数輩出している小・中学校にお贈りしているものです。今回は福井大学教育学部附属義務教育学校、越前市花筐小学校、越前市武生第二中学校、坂井市立丸岡南中学校が受賞し、各学校に表彰楯と記念品を贈呈しました。



当社立地・地域共生部長による原電社長賞の表彰



最優秀賞の表彰



最優秀賞受賞者による研究作品発表

優秀作品展を開催します	
敦賀展	~1月9日(日)(開催中) 会場:げんでんふれあいギャラリー
越前市展	1月11日(火)~16日(日) 会場:福井新聞武生支社 コミュニティーホール
鯖江展	1月19日(水)~24日(月) 会場:鯖江市文化の館
坂井展	1月26日(水)~30日(日) 会場:福井県児童科学館
※福井展, 大野展, 小浜展は, 終了しました。	

ぜひ、お立ち寄りください!